広報 かじき

No.248
昭和51年 2

発行／加治木町
編集／総務課

二月は逃げて走る

故事ことわざより

町内一周駅伝大会，正々堂々とゴールイン

■メモ　人口／20,725　男／9,808　女／10,917　世帯／6,560　（51年1月1日現在）

＝12月議会から＝

農業振興費などを補正

給与条例の一部改正は否決

一般会計補正予算 五千六百七十六万八千円を追加

定例第四回町議会は、昨年の十二月十九日から二十六日までの八日間、町議事堂で開かれ、人事院勧告による町職員の給与の改正、一般会計および特別会計の補正予算など、議案六件と陳情三件、請願一件を審議しました。

その結果議案一件を否決、陳情一件を一部不採択し、ほかはいずれも原案どおり可決、採択しました。

今回の一般会計補正予算は、町職員の給与改正分を含む五千六百七十六万八千円が追加され、予算総額は十五億三千九百八万三千円となりました。

条例関係では「加治木町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」がありましたが、賛成二反対十九で否決されました。

おもなものは次のとおりです。

予算関係

今回の一般会計補正予算は、補正額の半分以上が給与改正分ですが、そのほかに次のようなものが予算補正されました。

▽環境衛生費七十二万七千円（飲料水供給施設費補助）▽塵芥処理費百七十六万四千円（収集委託料ほか）▽一般失業対策事業費七百九十万七千円（就労者賃金ほか）▽農業振興費百九十六万六千円（活動火山周辺地区防災営農対策補助ほか）▽公民館費百万円（長谷公民館建設補助）▽河川災害復旧費七十九万四千円（大谷川工事請負費ほか）▽道路橋梁災害復旧費百二十七万円（西別府線ほか）。

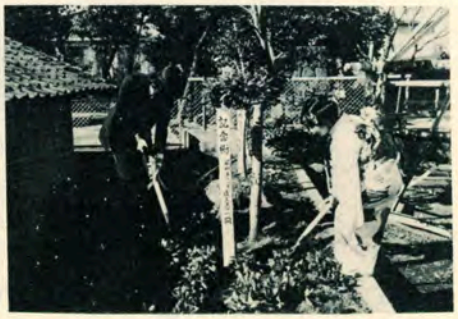
請願・陳情

■失業対策の作業時間短縮に反対し、内容改善に関する請願を採択

□加治木中学校の施設、設備等に関する陳情書を一部採択、一部不採択。

□柁城小学校体育館建設についての陳情書を採択。

□昭和五十一年度教育費予算についての陳情を採択。



お互いが大人になった喜びを記念樹に託し、土入れをする成人者の代表 ⇦

つづいて、園田町教育委員長から、成人者代表の隈原康男君に記念品「はたち」の本が贈られました。

このあと新成人として、杉森春男君＝鹿大生と桐原佳子さん＝鹿銀勤務の二人が、新成人抱負の発表を行いました。（内容別掲）

式の終了後、成人者たちは福祉センター前に集まり、中村　誠君末永いずみさんが代表でヤマモモ一本を記念植樹。

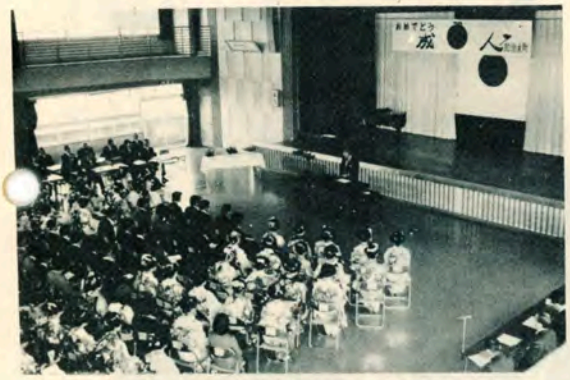
再びホールにはいり、全員で記念写真を撮って、茶話会にうつり大人になった門出を祝い合いました。

新成人者の皆さんおめでとうございます。

成人の日

新成人を祝う

町内312人が大人の仲間入り



華やかに行われた成人式

今年も、新しく大人の仲間入りをする、町内の成人者三百十二人（男百四十四人、女百六十八人）を祝う成人式は、一月十五日の「成人の日」に町福祉センターホールで行われました。

この日は、カラリと晴れたおだやかな天気に恵まれ、会場は、いつもながらの晴れ着姿に、ファッションショーを思わせるような女性でいっぱい。社会の不況とはうらはらの華やかなムードが感じられました。

式には、成人者の約半数が参加はなやかで厳しゅくな中に、寺崎町教育長の式辞のあと、

東　町長が「皆さんが、こんなに立派に、たくましく、たのもしい成人になられたことをおよろこび申し上げると共に、新しい人生のかど出にあたり、はなむけの言葉を申し上げたい…。①今日までお世話になった両親や先生、先輩に対する報恩感謝の心を忘れるな②事に当っては、くじけないでやり通す根性をもて③節約は美徳、物を大事にする時代が来た④時代を背うて行くのは、成人になった若い人達であるなど、十分自覚して常に成人の心構えを忘れず、郷土社会に貢献できる人間になって下さい」と祝辞を贈りました。

二十歳晴れて大人の仲間入り

わたしの抱負

せのびせず 自分なりに 確実にふみしめていきたい

（端山）桐原佳子さん

今、二十歳という人生の岐路に立つ私共を、今日まで暖かく見守ってくださった皆様方、心より感謝申し上げます。この成人の日が私共に新たな一筋の道を与えてくれるように思えます。

人々が私共を成人とよんでくださる、今まで味わったことのない新鮮な気持ちが、こみあげてまいります。と同時にかすかなとまどいも……。

まだ時として、甘えという心のぜい肉をすてきれない私、いつまでも自由に子供の世界を、さまよっていたいという誘惑に負けそうになるのです。どんなにあせってみても、自分というものは、実に小さく何と無力なのだろうと、悩んでみたり、生きている価値などないと嘆いてみたり、一歩一歩大人に近づくにつれ、そんな迷いは増すばかり。

今、開かれた大人への扉、これまで目をそむけていた問題が、いやでもぶつかってくるでしょう。しかし、そんなつまづき、誰しもぶつかる道だというのなら、もう恐れません。今の私にあるのは、若さと燃える希望だけです。

もう歩み始めた大人への新しい道、せのびせず、自分なりに確実にふみしめていきたいと思います

自分自身の 行動に 責任もって 進みたい

（中汐入）杉森春男君

今日ここに、新たな決意と恵まれた環境のもとで、みなさまの暖かい目に見まもれながら、成人式を迎えることができて、本当にしあわせだと思います。

早いもので私も二十歳。いざ自分自身が二十歳になり大人の仲間にはいってみても、自分が「大人になったんだ」という実感がなかなかわいてきませんでした。これはひとえに、私がまだ学生であるという立場にいるからでしょうかしかし、私は事実どんなことがあろうとも、もう立派な大人になったのです。法的にも社会的にも、子供としてではなく大人として扱われるようになったのです。

そこでこの日を契機として、今までの自分の行動を振り返る時、いろいろな面において一種の甘えといえるものがあったのではないでしょうか。

しかし、社会の一員となった以上、もうこれまでの甘えのような物は、許されなくなったのです。法律的にいっても厳しい目で見られるようになり、すべての行動に自覚と責任が要求されるのです。何といっても、この点にもっとも留意していかなければならないと思います。

これまで生きてきた、この二十年間に私たちは、いろいろな事を学んできました。でも、このようなことでは真に社会を踏みしめながら生きてゆくことは不可能であろうし、きっとそこには人生の先輩ともいえる、年上の人の助言というものに、耳を傾けなければならないと思います。

最近、よく世間で〝今ごろの若い者は〟という言葉をよく聞きます。たしかに私たちからの目から見ても、幻滅を感じるような無気力な、無感動な若者が増えているのは確かです。でも私たちは、それらに同比してはならないと思います。

この未熟ながらも物事に体あたりしていく、若い力を社会のよい方向へと向けてゆくべきではないでしょうか。

最後に栄えある成人式を迎えられたのは、まわりの皆様のご援助による所が大きいと思います。その中でも特に忘れてはならないのは、今まで私たちを育ててくださった父と母の力ではないでしょうか。本当に感謝しています。

大人の階段の、一段目をまだやっと登ろうとしている私たちではありますが、皆さまがた先輩諸氏のご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

ここに成人式を迎えるにあたり私の抱負といたします。

〝道路は財産〟 皆んなできれいに いたしましょう

道路は町民みなさんの財産です皆さんの協力で道路をきれいにし美しい町にいたしましょう。

特に次のことに、ご協力ください。

□毎月第二・日曜日は清掃日です

部落内の道路、側溝、路肩の清掃をしましょう。（塵芥は連絡があれば町で収集します）

□道路上に物を置かないように

側溝も道路敷です。側溝の上に商品を出したり、看板や材木等を置かないようにしましょう。

やむおえず道路を占用する時（一時的な建築の足場等を含む）は必ず道路占用の手続きを、町建設課にしてください。

□道路に車を放置しないように

車は車庫証明がないと買えません。道路に車を放置することは、交通上よくありません。お互いに気をつけましょう。

□側溝や川に物をすてないように

側溝や川は、たえずきれいに流れていなければなりません。大雨の時など、思わぬ災害をひき起こすことになります。

□道路との境界をはっきりと

道路との境界に壁やブロック塀宅地造成等をするときは、町道は建設課、農道、里道および水路は大字区長と必ず話し合ってしましょう。

老人と身障者の作品展
＝第3回＝
永田さんら五人が入賞

県内の老人や身体障害者による第三回県作品展が一月十日から十二日までの三日間、鹿児島市の高島屋で開かれました。

本町からも、たくさんの作品を出品。次のかたがたが入賞され、表彰を受けました。

老人の部

■入選（銀賞）＝陶器・永田珍馨（仮屋町）

■佳作＝書・入佐俊興（朝日町）▽手芸品・小木原タツ（吉原）▽同・望岳園（高井田）

身障者の部

■佳作＝人形・谷口和子（里ノ上）

保簡 特別一時金支払う

郵便局では、昭和二十四年五月以前に加入された簡易生命保険について、加入者より申し出があれば、特別一時金をお支払いすることになりました。

取扱い期間は次のとおりです。

■昭和十六年三月三十一日以前に加入契約されたものは、昭和五十一年一月一日から三年間。

■昭和十六年四月一日から昭和二十四年五月三十一日までに加入契約されたものは、昭和五十一年七月一日から三年間。

くわしくは加治木郵便局・保険係又は保険外務員へおたずねください。

共同歳末募金のご報告

昨年十月から皆さまがたに、ご協力いただきました「共同募金」と年末の「歳末たすけ合い募金」の結果がわかりましたので、ご報告して、お礼といたします。ご協力ありがとうございました。

■**共同募金の内訳**

戸別募金	八一二、二五〇円
個人大口募金	二二、〇〇〇円
法人募金	六六、〇〇〇円
街頭募金	一二、一四二円
職域募金	六、五九〇円
合計	九二八、九八二円

県共同募金会へ納入いたしました。

■**歳末たすけあい募金**

戸別募金	三三四、九七〇円
一般寄付金	五五、〇三二円
前年度繰越金	七六、二二二円
利子	二、二一三円
合計	四六八、四三七円

■**配分先の内訳**

生活難世帯	一六八、九〇〇円
ねたきりの人	五七、六〇〇円
肢体不自由児	七、二〇〇円
精薄児（者）	九、六〇〇円
不遇児	二、四〇〇円
老人ホーム	四五、〇〇〇円
長期療養患者	五一、〇〇〇円
重症心身病棟	一五、〇〇〇円
特老「望岳園」	一〇、〇〇〇円
送料及び消耗品	四、七六五円
合計	三七一、四六五円

配分後にご寄付いただいた募金九万六千九百七十二円は、五十一年度へ繰越しました。

■**一般寄付者**

宮脇基利（小田倉）坂元重子（中福良後）柿元蝶（田中）川上トラ子（西諏訪）猪俣定雄（茶碗屋）匿名（鞍掛）加治木キリスト教会、錦江小児童会、柁城小児童会

作文
からいも日記

錦江小四年　野間育人

四年生になって、ぼくたちが理科でさし木のところをならっていたちょうどそのころ、ぼくはかいらんで、加治木町が計画したからいも学級の生徒をぼ集していることを聞いて知りました。そして、家族みんなで話し合って、からいも学級にはいることにして父が申しこんでくれました。それでぼくは、毎日の生活ノートからその観察の様子をつづってみました。

六月二十一日㈯くもり時々雨。きょうは、一時半から、からいも学級の開こう式が丸岡公園の畑であった。ぼくと父と母と三人で早目に家を出た。坂の途中でいつも止ったことのない自動車が急にとまってしまい、ぼくたちは開こう式に間にあわなかった。着いた時ちょうど、からいもの植え方の説明があるところだった。

ぼくたちの班は、六班で六家族だった。同じ四年生のとりがい君に、石原君たちも一しょの班だった。ほかにもたくさんの友だちが家族と一しょに来ていてとてもにぎやかだった。畑の場所をぼくたち子どもがジャンケンして決めた

ぼくと母はひりょうをまき、父がうねを作った。ぼくの家のは、うねが小さかったので七うねできた。ぼくはうねの上に先生から教えてもらったようにしてつるを植えた。ぼくは土の中にさした小さなつるが、だんだん大きくなっておいしいいもがなることを聞いてふしぎに思った。夕方MBCのニュースで、ぼくたちのからいも学級の様子がテレビで放送された。からいもの植え方を聞いている、ぼくの顔がちらっと写った。

七月二十六日㈯はれ。一時半から全員集まって、草を取ったり、ひりょうをやって土よせをしたりしました。ながくこなかったせいか、ぼくはつるがみちがえるように長くのびているのにおどろいた根もとを少しほってみたら、くきから白い糸のような根が何本もでていた。ぼくはこの白い根にからいもがなるのだなあーと思った

八月二十三日㈯はれ。三時から全員集まって、いっぱいしげっていたつるをかえす仕事をした。青虫や黒い虫がたくさんいたので虫をとったり、草を取ったりした。土の中にはもう小さな赤いいもがはいっていた

九月二十日㈯はれ。こん夜は十五夜である。昼から畑に全員集まって、はじめてのからいもほりがあった。植えてからちょうど三カ月目である。父がつるをかまで切って、くわでほりはじめたので、ぼくが「ざくざく出てくるかな」と言ったら母にわらわれた。ぼくの家のいもは、細長い赤いいもだった。一本のつるにいちばんなっているのは六こだった。また大きいので二八〇グラムあった。いまから大きくなりそうな小さないもをとるのは、なんだか、かわいそうな気がした。ほかの家のところでは、白いいもや、丸い赤いいもなどをほってみんなにこにこして楽しそうだった。夕方ほったいもを、くだものといっしょにお月さまにそなえた。お月さまもよろこんで、丸い顔をなお丸くして、外をいっそう明るくてらしてくれたようだった。

ぼくは、のこっているいもほりが楽しみだ。

話題あれこれ

町内一周駅伝大会
南日本デーリー優勝

第九回の町内一周駅伝大会は、一月十八日、町内外から九チームが参加して行われました。

この日は、よい天気に恵まれ、ちょっと膚寒い感じでしたが、選手たちにとっては絶好のマラソン日和。

午前十時、図書館前から小山田や西別府・木田地区を走る、全長二〇・四キロ八区間のコースで健脚を競い、沿道の声援をうけました。

成績は次のとおりです。

【団体】一般の部＝①南日本デーリー1時間13分18秒　②姶良西部消防組合1時間16分04秒　③コカ・コーラ1時間19分53秒　④役場　⑤明治乳業　⑥ダム・ビート

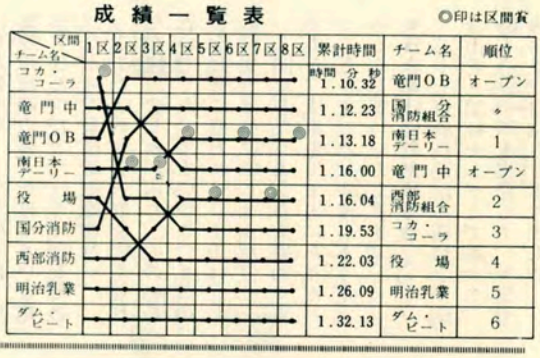
▽オープン参加＝①国分消防組合1時間12分23秒

▽高校の部＝①竜門OB1時間10分32秒

▽中学の部＝①竜門中1時間16分0秒

【区間賞】一区　大重博（コカコーラ）▽二区　平川学（南日本デーリー）▽三区　岩崎徹（同）▽四区　指宿隆一（同）▽五区　新寿（姶良西部消防組合）▽六区　信時忠明（南日本デーリー）▽七区　楠木四美（姶良西部消防組合）▽八区　原口三幸（南日本デーリー）

成績一覧表　◎印は区間賞



チーム名＼区間	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	累計時間	チーム名	順位
コカ・コーラ									時間 分 秒 1.10.32	竜門OB	オープン
竜門中									1.12.23	国分消防組合	〃
竜門OB									1.13.18	南日本デーリー	1
南日本デーリー									1.16.00	竜門中	オープン
役場									1.16.04	西部消防組合	2
国分消防									1.19.53	コカ・コーラ	3
西部消防									1.22.03	役場	4
明治乳業									1.26.09	明治乳業	5
ダム・ビート									1.32.13	ダム・ビート	6

ブラジルから特別賞
錦江小の神宮さん

町内錦江小学校の神宮真奈美ちゃん（三年生）は、このほどブラジルの国際綿花評議会（ダン・デービス会長）から特別賞が贈られました。

真奈美ちゃんは、大阪の日本コットンセンターから同小学校に送られてきた「綿の観察記録」の募集に、理科指導の猪俣吉夫先生がやってみたらとの助言で、応募することになったものです。

観察は送られてきた六粒の種子を植木鉢にまいて、自分の家の日照りのいい場所に置き、毎日一回水を与えながら、種子をまいてから真白いわたが採れるまでをこまかく観察記録されています。

同小学校では、外国から賞をもらったのは、初めてですと皆んな大変喜んでいます。

すてるのはおしい
図書館に図書を寄贈

町内、田中部落の岩崎布衣さん（七三）は、自宅に眠っている図書二十二冊を、町の図書館に贈り関係者を喜ばせました。

この図書は、岩崎さんのお孫さんが読まれた児童図書で、部屋の整理をしたところ処分することになり、いろいろ検討のすえ図書館に寄贈されたものです。

岩崎さんは、この本が少しでも多くの人に読まれて、何かのお役にたてばうれしいですと、話していました。

町の図書館では、まだまだ図書の数が少なく、こういった本があれば、どしどしご協力いただきたいということです。

ご寄贈ありがとうございました

国道10号線バイパス
加治木～姶良間開通

昭和四十五年から工事が進められていた、加治木町岩原・姶良町東餅田間の国道10号線バイパス、約二・一キロ（幅十一・五メートル、二車線）が一月三十日オープン。

式には、道路関係者をはじめ、加治木、姶良両町長など多数が参列、西山徹九州地方建設局道路部長らの手によって、はさみが入れられました。

現在までの道路は、朝夕のラッシュ時など交通が渋滞し、交通事故多発地点にもなっていたことから、バイパスの開通によって車の流れをよくし、事故防止をするため建設されたもの。

着工　昭和四十五年、総工費約十六億円。

町連合婦人会

一月の行事から

（婦人会だより）

■**成人式**

十五日町福祉センターで行われた成人式に、婦人会から紅白の祝菓子を記念品に差し上げ、お健やかな成人をお祝いしました。

■**ふるさと学級**

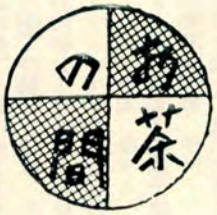
二十一日再び史跡めぐり、今回は木田方面の史跡を歩いてみました。前回にひきつづき、ご指導くださいました汰木先生のとても熱心なお話しに、学級生は思わずつり込まれ、寒い北風の中にもかかわらず予定の時間を一時間近くもオーバーしてしまいました。

まず、小鳥神社の由来などを伺いながら吉祥寺墓へ、ここには島津氏に殉じた入枝氏の墓をはじめ曽木氏、小浜氏の墓もあります。

汰木先生の説明を熱心にきく学級生

ついで、青果市場のにぎやかな通りを抜け、小鳥神社の森を右手に見ながら長年寺墓へ、それから島津氏墓を尋ねました。

うっそうとしげった中の苔むした石の階段を上り、大きな亀の背に乗った供養碑と、精巧な細工をほどこした石燈籠を目にして、一同驚くばかりでした。これは近々の方には「かめんかんさあー」と呼んで親しまれているお墓だそうです。



五老峯を背に木田の道の途中、江夏友賢の墓、実窓寺磧史跡、伊集院源次郎の墓（形は小さいが亀墓）ひとつひとつにその昔をしのびながら、最後は隈姫神社へ。

ここでは不幸な一生を終えられた女性の悲しみにふれ、心の痛む思いでした。でもいつまでもこのように皆に慕われている方は、しあわせではないでしょうか。

二回にわたりました史跡めぐりですが、汰木先生本当にありがとうございました。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

■**日赤奉仕団幹部研修会**

二十七日姶良地区の研修会が国分市老人福祉センターで開かれ、婦人会から四人出席して、家庭看護法など研修して参りました。

二月行事のお知らせ

□**ふるさと学級**

十八日(水)九時三十分、福祉センター

□**生活学校**

二十三日(月)九時三十分、福祉センター

□**町内婦人団体連絡会**

第三回目の会合を開きます。

私たちの郷土を美しくする運動を婦人の力で…

先日「郷土を美しくする部会」の方々と共に、綱掛川を見て参りましたが、残念なことにあちこちにゴミを捨ててあり、とてもきれいな川とは言えませんでした。

これは、私たち主婦のちょっとした心掛けで、もとのきれいな川に戻せるのではないでしょうか。

そこで、次のような事を実行しようではありませんか。

▼危険物とちりを一諸にしないようにしましょう。

▼川に物を捨てることは、絶対に止めましょう。

▼合成洗剤の使用をなるべく止めましょう。もし、どうしても使う場合は、使用量を今の半分に減らしましょう。

これだけでも、川はずいぶんきれいになるはずです。

そして子供たちが、安心して遊べる川にしてやりたいものです。

竜門句会

元日や母もほんのり薄化粧　田代　俊一

修理して義足も軽し初句会　宮脇　国吉

ひなたぼこさびしくなれば爪を切る　是枝　快春

蜜柑むきし掌の黄を客にひた隠す　恒吉　斗南

肩張りて広田潤歩す寒鴉　伊丹　司朧

子等はみなそれぞれに生く霜の花　鶴田　耕

接木にも一輪うれししだれ梅　曽木　柳田

初鏡心の曇り清め度く　中山　待香

郡千鳥波が浄めし礁かすめ　井之上透山

元旦の滝しろがねのとばり張る　渡辺　水鶏

人の世の儚なきことよ寒椿　横山　江南

家中の灯し明るく年送る　松永　愛子

孫おどる暖冬の野に影うつし　永田　禾陽

たばこは町内のお店で買いましょう

税務署だより

◆還付申告は早めに◆

所得税の確定申告と納税は、二月十六日から三月十五日までです

サラリーマンの方など確定申告をしなくてもよい方でも、災害を受けたり、多額の医療費を支払った方などは、確定申告書を提出すれば雑損控除や医療費控除をすることによって、税金が返ってくる場合があります。

この還付を受けるための確定申告は、二月十六日より前でも受付けています。早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。なるべく早くお済ませください。

申告書の書き方がわからないとき!!

確定申告の期間中、次のところで納税相談所が開かれます。

確定申告書の書き方など、わからない方は遠慮なくご利用ください。もちろん相談は無料です。

□**納税相談所**

三月十一日(木)から十三日(土)までの三日間、加治木税務署。

□**税理士相談所**

三月十一日(木)から十二日(金)までの二日間。加治木町商工会館。

期間中は何時でもご相談に応じます。

くわしいことは、税務署か役場の税務課へおたずねください。

町消防団出初め式

無火災の実現に努力を

優良団員ら87人を表彰

晴れわたった空に数条の水柱が光る

新春恒例の町消防出初め式は、一月十二日午前十時から、加治木高校グラウンドで、来賓多数を迎えて盛大に行われました。

この日は、よい天気に恵まれて午前九時、式に先だって全団員が国分自衛隊音楽隊のマーチにのって、市中行進を行いました。

十時から式典にはいり、町長や来賓による、団員の服装点検や消防器具などの点検のあと、小型動力ポンプ六台（指揮者西別府分団班長東　輝男）自動車ポンプ五台（指揮者中央分団部長竹内敬一郎）による消防ポンプの操法が行われ、てきぱきした行動に盛大な拍手が送られました。

つづいて、出初め式の見せどころの一つ、放水演習は消防車のサイレンを合図に、一せいに放水、十数条の水柱が勢いよく、すっきりと晴れわたった空に、白く光る中に七色の虹をつくり観覧者の目を楽しませました。

分列行進にうつり、整列された団員を前に東　町長は「団員諸君は、二万有余の町民の生命、身体財産を火災や災害から守るという使命感に徹して、よく努力され、感謝に堪えない。

昨年は火災二件、ボヤ二件発生しましたが果敢な消火作業の結果最少限度に被害をとどめていただいた。特に駅前の鎮火は奇跡的に一戸で終ったが、団員各位の不断の訓練と決死的な消火活動の成果である。

加治木町の市街地は、近年住宅の高層化、新建築資材や様式などの近代化が進み、従来にない態様の火災が心配されるので、この近代火災に対処して一段と教養訓練に励み、無火災の実現に努力されるとともに、出火に際しては適切な消火活動によって、住民の信頼に応えてください…」と式辞を述べました。

このあと消防関係功労者八十七人の表彰が行われました。

受彰者は次のかたがたです。

日本消防協会長表彰

▽勤続章30年＝中原久男

県消防協会総裁表彰

▽功績章＝大園譲、東光義、畠中博、小宮路静哉、岩田辰二、池田三郎、蔵満洋一、芋ケ迫正男、寺師栄

▽精績章＝蔵満実、川村吉弘、入部英行、瀬戸口美信、新福貢、内村利行

▽永年勤続章30年＝中原久雄

▽永年勤続章20年＝東光義、芋ケ迫正男、寺師栄、川村吉弘、檜物実

鹿児島県知事表彰

▽勤続章10年＝竈春美、竈幸雄、外村秋男、長谷正治

県消防協会姶良伊佐支部長表彰

中間洋祐、今中清一郎、江口広光、江口杉春、山元透、白浜隆雄、樋口一利、楠元洋一、橋口嵩、久木田虎二、三好之男

町長表彰

宇部和義、富安龍司、郡山和弘、新城秀吉、川原輝雄、東川内忠司、越口重雄、今吉享、小宮路久則、

勤続表彰

▽勤続章30年＝松尾利光

▽勤続章25年＝有川恭雄、畠中博、大園譲、小宮路静哉

▽勤続章20年＝池田三郎、檜物実、山元透、川床利夫

▽勤続章15年＝向江素、宮内時雄、大宮路五男、郡山貢、杉田秀清、犬童政武

▽勤続章10年＝市来原松義、田中健二、堀内喜一郎、大山一男、西村勝

無火災表彰

▽5年＝辺川分団

▽1年＝西別府分団、小山田分団

団長表彰

佐藤郁、有馬義則、三好茂、今村芳男、遠矢光男、岩元道雄

町長感謝状

東木武一、浦川盛哉、上猶清高、前村松美、山元透、檜物実、山下武男、漆間宗雄、松葉瀬静男、有村進、国分自衛隊音楽隊

町後援会会長感謝状

猪目明（前町消防係長）

小型動力ポンプによる操法

劇団新制作座　二十一日公演

町の青年団連絡協議会が主催して、東京の新制作座、劇団「人間万才」を公演することになりました。この公演は、全国的にも好評を得ており、皆さん方も喜こばれることと思います。

町民のみなさん、多数ご観覧くださるようお願いいたします。

○期日　二月二十一日(日)昼夜二回

○会場　加治木工業高校体育館

○前売券　小学生四百円、中学生五百円、高校生六百円、大人千五百円

■当日は小・中・高とも二百円増し、大人は五百円増し。

お問合せは教委内青年団連協へ

記事の訂正

本紙一月号（二四七号）(3)ページ昭和49年度決算の概要の記事中支出額が十四億三千六百三十一万五千円とあるのは、十四億三千六百三十万五千円。(4)ページ町長の新年のごあいさつの記事中、往年の二万人を突破して二万九千七百七人とあるのは、二万七百七人の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

建築前に確認申請と工事届を

加治木町は、都市計画区域（下場全域と城部落）とそうでない区域（城部落を除く上場全域）とに分かれております。

都市計画区域内に建物を建築するとき、または区域外に特殊建築物等の建物を建築する場合は、建築前に必ず建築確認申請の手続きをとって、確認を受けなければ工事に着工できないことになっております。

そのほか、建築物を建築しようとする場合や、除却しようとするときは、その旨県知事に報告することになっておりますので、町内全域＝建築工事届を別に提出してください。

なお、くわしいことは役場建設課へおたずねください。

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　井手向　山下　幸子（母ヌイ）
五万円　中　野　有村　ミヨ（夫　連）
一万円　西諏訪　伊尻フミ子（夫　進）
三万円　中福良　宮里登喜雄（次男信一）
五万円　西汐入上岡山　秀晴（母ミツ）
二万円　仲　町　鶴田　健二（父嘉寿男）
一万五千円　曲　田　押川　親志（妻クマ）
一万円　港　町　是枝　由美（夫喜義）
一万円　下東木　渋谷　キワ（義母ツル）
五万円　垂之口　浜田　キミ（夫隼人）
一万円　於　里　脇田　郁穂（母ミツ）
二万円　須　崎　郡山トキエ（夫　巌）
二万円　南汐入　堀　文子（母和田キミ）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　中　野　有村　ミヨ（夫　連）
二万円　中福良　宮里登喜雄（次男信一）
五千円　港　町　是枝　由美（夫喜義）
五万円　垂之口　浜田　キミ（夫隼人）

■一月二十日までのご寄付を掲載しました。

一般特志寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

一千円　偶　人
三万円　永　原　池田ナツエ

回顧録 ②

幼いころ

曽木隆輝

小学校時代から学舎に行かされた。毎週土曜日の夜集会があった上級生、時の中学生や社会人の先輩方から、長い長い訓示があったり説教をきかされた。

中学に入ってからはなおさらだったが、夜間外出は厳禁、門外にでるときは、帽子と袴を着用とのことだった。私の門の向い側は銭湯だったが、そこへ行くのにも袴を着けて、でかけねばならなかった。寒げいこが冬はあった。毎朝五時ごろ中学校へ行って剣道か柔道をやるのだ。ずい分いたずらがはやった。裁判所や官庁と旅館その他の看板をかけ替えておいたりいまの役場の近くにあった人力車の置場から、わざわざ人力車を引っぱり出して道路のまん中においたり、西瓜やミカンどろぼうをやったり…。

しかしあまり問題にならず本人がわかれば、父兄が呼び出され先生に叱られたり、度の過ぎたのは停学になるのもあったらしい。

私たちの時代は、その程度のことだったが、先輩たちはもっと他愛もない悪さもしたようだ。中学校の屋根に雀のワナを用意しておいて、授業中、先生に腹が悪いので便所に行きたいとことわって、何度も席を立って、ワナを見に行ったり授業料を父が苦心してやっとためました、とワザと一銭銅貨数百枚を会計にもって行ったり、先生に夜乱暴して退学になったりした人もあったと。

私たちの子どもの時代は、親よりも先輩の目が恐しくてならなかった。ちょっとしたことで皆の前で制裁を加えられた。でもビンタを食らわす程度で傷を与える程ではなかったので、父母も抗議はしなかった。

中学時代までは男女七歳にして席を同じゅうせずで、姉妹でも一諸に歩けなかった。先年亡くなった谷口元参議も私より一、二年上級生だったが、女学生に手紙をやったのが表沙汰になり退校を命ぜられ川辺中学に転校した。

明治の末、加治木は村から町になった。初代町長は池　直一さん、しかし気狂に加治木駅で何の理由もないのに刺し殺されお気の毒だった。

幼いころ私たちの夢は、軍人か知事になることだった。日露戦争後でもあったし、私の家の近所隣りは、ほとんど軍人で、加治木からは県知事三人もでて居られる状況ゆえ、父母がそう願ったのも無理もない。どっちにもなれなかった私は親不孝者だったろう。

二月の在宅医

1日　玉利病院　②二三二八
8日　神田橋医院②二〇二四
11日　池田医院　②二二二〇
15日　壱岐医院　②二二二二
22日　大川医院　②二〇三二
29日　岩崎(昭)医院②二三一五

□…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。
□…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください